

「北軽井沢の雪」

北軽井沢は「軽井沢」とは名ばかりで、群馬県長野原町にある一地名(大字名)です。確かに、地理的には軽井沢町(長野県)の北側に位置します。北軽井沢は位置的には大分水嶺の東側に位置し、流出する川は、最終的にすべて利根川に合します。気象学的にも一応太平洋側の気候区に属し、冬は晴れの日が多いのが特徴です。しかし、ここは標高1100メートルの高原。優勢な爆弾低気圧や南岸低気圧が通過すれば、冬の間には降るのは雨ではなく「雪」です。

11月中旬から12月上旬の北軽井沢の景観は平凡です。紅葉は終わり、木々は葉をすっかり落とし、まだ雪もありません。単調な冬枯れの景色なのです。毎年この地が雪景色になるのは、12月下旬のクリスマスの頃からです。しかし、今年はちょっとちがいました。



「12月中旬の北軽井沢」

紅葉と落葉の季節は終わっています。しかし、まだ雪は一片もありません。非常に単調な冬枯れの風景が続く、つまらない季節です。

北海道に高潮と暴風雪の大被害を生じさせた爆弾低気圧は、北軽井沢にもまとまった量の雪を降らせました。私はおよそ1か月ぶりに訪れたのですが、この時期としては稀な積雪に驚きました。雪というのは、風景を短時間で劇的に変貌させます。積雪深(せきせつしん)よりも低い地上物は、すべて雪下に埋没します。樹木の根元、落葉、低い灌木、多くの草本などです。もちろん除雪しなければ、道や駐車場も雪に没して、春までそのままです。落葉樹の枝や、モミの葉の上、それに家屋の屋根にも雪が積もります。こうして、風景はたった数時間で一変してしまうのです。



「12月中旬の北軽井沢積雪」 一晩で風景は一変してしまいました



しかしこれで驚いてはいられません。この写真は今年の2月中旬の様子です。一番積もった時は1m30cm でした。家に入るどころか、山荘にたどり着くことさえ不可能でした。今年もこうなりそうな予感がします。確かに美しいです。今から、雪の楽しみ方を考えようと思っています。

(お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋)